

## 渡辺茂先生の逝去を悼む

会長 福島秀策

本会副会長渡辺 茂先生永らくご病氣ご療養中のところ去る九月十三日病あらたまり遂に不帰の客となる。まことに痛恨の極みであって深く哀悼の意を表する次第であります。

先生は大正七年東京歯科医学専門学校を卒業後、直ちに郷里に於て開業せられ名医として患者の信頼厚く、又よく郷党の信望を得て歯科界のみならず地域社会のためにも力をつくされたのであった。その間岡山県歯科医師会長或は東歯大同窓会岡山支部長、昭和四十一年より本会副会長として衆望を担っていられたのであった。

特に先生の年来の主張であった同窓会地域支部連合の結成が進んでようやくその基礎が一層強固になろうとする時に再起を望むことが出来なかつたことはまことに残念である。

先生の謹直温厚なる人格と幾多の業績は国家の認むるところとなり今年四月勲五等に叙し瑞宝章を賜ったことは当然のこととはいいながらせめてものなぐさめである。



茲に深く先生のご冥福を祈り謹而哀悼の誠を捧げる次第である。

合掌

## お知らせ

### ◎第七五回同窓会定時総会及び講演会

◇日時 十一月九日(日) 午前十時三十分—午後五時 ◇場所 母校講堂

### ◎総会(午前十時三十分—十二時)

◇議案 (1)昭和四十三年度経常部ならびに特別会計収支決算の承認を求める件

(2)昭和四十五年度経常部ならびに特別会計収支予算案の承認を求める件  
(3)会則改正の件 (4)その他

### ◇会務報告

### ◎シンポジウム(午後一時—五時)

◇演題 「時代に即応した合理的診療の実際」 司会 山本為之理事

最近、各地でスタディ・クラブの活動が活発に行なわれている。現在の困難な医療体制のもとで、日常の臨床に最も新しい理論を生かすべく、あるいは独自の考察により、それぞれ成果をあげている同窓も数多くある。

今回はこれらの方々の中から一診療のありのままを卒直に公開—していただく趣向である。また、御出席の母校教授にも専門的な立場でアドバイスや疑問点についての解説も願いたいと思っている。御期待のうえ御参集の程お願いいたします。質問を歓迎します。

◇講師 藤原 康功氏(浜松) 丸森賢二氏(横浜)

大沢進一郎氏(千代田区) 金子一芳氏(中央区)

### ◎最近歯科器材の展示即売会(総会当日・母校ホール)

### ◎同窓会評議員・支部長会

◇日時 十一月八日(土) 午後一時より ◇場所 母校講堂

◇議案 (1)総会議案と同様、その他に (2)役員改選の件、(3)母校創立八十周年並びに血腸守之助先生誕生百年記念事業に関する件、(4)その他

### ◇会務報告

### ◎鹿島俊雄後援会全国役員会(評議員会終了後)

### ◎第一七九回東京歯科大学学会(総会)

◇日時 十一月八日(土) 午前九時より ◇場所 母校講堂

◇特別講演 最近の歯科麻醉 中久喜 喬教授  
◇宿題報告 法歯学と犯罪捜査 鈴木 和男助教



# 同窓会会則案まとまる

## 今期総会、評議員会に提出

昨年十一月の支部長、評議員会において、福島会長より、時代に即応するよう、会則の一部を改正したい旨発言され、御賛同を得た。

以来、理事会のなかに会則改正小委員会を設け、八回にわたり詳細に検討を重ね、試案を作成した。これを理事会にかけ数度慎重に協議し、改正案をまとめた。そこで、来る十月十九日に全国

支部長を招集して御意見を伺い、十一月の評議員会、総会に提出して、御審議をわずらわすことになった。

この改正案の主なもの、プロット制の確立、理事(地方在住の理事)の増員、評議員の比例代表制の実施、高齢会員の問題、その他従来の会則のあいまいな点を明確にせんとするものである。

# 渡辺茂副会長の葬儀

## 厳肅、盛大にとり行なわる

本会副会長渡辺茂先生には、胃癌のため岡山医大附属病院に於て手術をうけられ、経過良好で一度は退院された。その後再度国立岡山病院に入院、療養を続けられていた。

去る七月二十六日、福島秀策会長と渡辺富士夫理事が同病院にお見舞に伺った際は、非常に元氣な様子で「秋の総会には出席して、皆さんにお目にかかるのを楽しみにしている」と話しておられたのに……。

九月十三日、午後三時同病院に於て逝去された。深く哀悼の意を表する次第である。

先生は、岡山県歯科医師会会長、同窓会岡山県支部長、ライオンズクラブ会長、金光学園理事等を歴任され、各方面に巾広く活躍された。

昭和四十一年より、本会の副会長として同窓会のため特に御尽力を賜っていた。多年の国家社会に対する功績により今年四月勲五等瑞宝章を受章された。

人格円満、事を処するに当っては公正無私、実に高潔な人となりであった。同窓会はもちろん、歯科界、社会にとつては惜みても余りある人物であった。先生御逝去の報をうけ、大学よ

りは三崎鈴郎教授が十四日の密葬に参列。同窓会よりは後藤芳郎理事が弔問に参上した。

葬儀は、十七日午後一時より、岡山市のご自宅に於て厳肅なうちにも極めて盛大にとり行なわれた。

同窓会を代表して福島会長が参列し、弔辞を捧げて深く哀悼の意を表された。岡山県歯科医師会会長、金光学園、ライオンズクラブ等の代表者の弔辞をはじめ、同窓、友人知己、故人を徳をしたらう多数の方々、焼香があいついだ。折からの、悲しみをこめたかのような豪然たる雨のなかに、永遠の別れを告げた次第であった。

なお、今息信平氏は昭和十九年、母校を卒業され同地で盛業中であり、その御子息も目下母校で勉学中である。親子三代にわたる東歯一家である。御遺族の御繁栄と渡辺茂先生の御冥福を心よりお祈りする次第である。

# 本部短信

## ◆会員の栄誉

- 7月31日 編集部会
- 8月1日 事業部打合せ
- 8月6日 愛知県、静岡県、南信支部へ水害見舞状発送
- 8月8日 会則改正小委員会
- 8月9日 富山・新潟・山形の各

8月10・11日 六歯科大学同窓連合懇親会

8月13日 新潟県加茂市・小出町へ会員宛水害見舞電報発信

8月15日 編集部会

8月17日 加茂市水害見舞のため山本教授出張・同窓会よりの見舞金を依頼し贈呈した

8月19日 日曜セミナー安嶋理事十一月講演会打合せ

8月21日 臨時役員会

8月23日 福陵会総会・九州地区支部打合せ・福島会長・宝田理事

8月24日 会報一三〇号発送

8月25日 青森県・茨城県両支部宛水害および竜巻の見舞電話発信

8月26日 加茂市水害見舞に大多和、横須賀両理事出張

9月4日 会則改正小委員会

9月7日 南信支部総会高橋理事臨時役員会

9月11日 大阪同窓会打合せのため後藤理事大阪出張

9月12日 同窓会副会長渡辺茂殿逝去

9月13日 愛媛県支部総会 渡辺理事

9月15日 渡辺副会長葬儀のため福島会長出張

9月16日 定例役員会

9月17日 十一月講演打合せ会

9月17日 医政部世話人会

9月25日 日歯役員・代議員懇談

9月27日 千葉県支部 福島会長

## ◆支部長交替

9月27日 品川区支部臨時総会 井上副会長

9月29日 医政部第二部会

室蘭支部 4 太田泰正

茨城県支部 13 中村正夫

南信支部 29 牛木 実

三重県支部 9 加藤久二

## ◆支部長新任

品川区支部品川・荏原二支部分離承認

品川支部 23 塩沢栄一

荏原支部 10 田中 宏

◆水害罹災会員

新潟県加茂市 近藤 俊蔵

渡辺 正男・渡辺 忠男

瀬高 友栄・瀬高 良一

八百板 茂・八百板 勝

二階堂和彦・皆川 敏

永井 淳夫・永井 栄子

## ◆新入会員

富山県支部 中川 武

青森県支部 長門岩七郎

上条 敏夫

青森県 四・九・六 畑中正文

◆逝去会員

15 中山安虎 四・五・七 千葉県

9 松井成四郎 四・六・九 岡山県

10 柴田米三 四・七・七 沖 繩

11 野村 孝 四・七・七 世田谷

4 医石橋 坦 四・七・六 豊島区

12 大陸原大輔 四・五・七 十 勝

大南雲武雄 四・七・三 港 区



# 母校より

## 昭和四十四年度科学研究費補助金の交付決定

松宮 誠一

文部省の科学研究費補助金の交付については、昨年度から従来の方式（審査員が一回で行なう審議の方法）に代えて二段審査の方法が採用された。すなわち、第一段審査で交付される候補課題を選定し、第二段審査で他の分野との調整をはかりながら最終決定を行なう方法である。本年度は、第一段審査員として各歯科大学または歯学部教授計八名が、第二段審査委員として松宮が文部省から委任された。本年度の申請課題総数は二一、二二五件、採択課題数は五、三五一件（採択率二五・二%）、配分総額は五九億三〇〇〇万円強（昨年度の約二〇%増）、採択課題当り配分額は一一〇万九千円（昨年度より七、三%増）、採択された課題の申請額に対する配分額は平均五八、四%（昨年度より六、五%増）である。本学関係の交付決定課題、担当者、ならびに配分額は、つぎのとおりである。

### 一、総合研究（A）

「農業中毒機構とそれに基ずく診断治療法」衛生学教室上田喜一教授昭和四十四年度一五五万円

### 二、一般研究（C）

「抜歯の力学的研究」口腔外科学教室高橋庄二郎教授昭和四十四年度 一、二〇万円  
「キレート剤応用による根管清掃に関する研究」保存学教室高橋一祐助教昭和四十四年度 八六万円

「象牙質形成細胞のライフサイクルに関する電子顕微鏡的ならびに組織化学的研究」病理学教室田熊庄三郎教授昭和四十四年度 三〇万円 昭和四十五年 三〇万円  
一般研究（D）  
「上下顎における振動感覚器の同定とその電気生理学的特性」生理学教室 坂田三弥教授 昭和四十四年度 二四万円  
「歯体石灰化の本態に関する研究」微生物学教室高添一郎助教 昭和四十四年度 二四万円  
「口腔粘膜疾患と線維素溶解現象」口腔外科学教室 大森清弘助教 昭和四十四年度 一三三万円

### 三、試験研究（I）

「改良E.C.Aを用いる齲蝕予防填塞法に関する研究」口腔衛生学教室 竹内光春教授 昭和四十四年度 一〇五万円 昭和四十五年 一〇〇万円  
試験研究  
「弗素イオン導入法が歯牙無機質の構成とくに耐酸性（抗齲蝕性）を増強に及ぼす効果についての研究」市川病院歯科 加藤倉三教授 昭和四十四年度 七五万円  
奨励研究  
「歯牙移植の免疫学研究」口腔外科学教室黒柳錦也講師 昭和四十四年度 一五万円

「機能時における口腔内様相に関する研究」補綴学教室 腰原好講師 昭和四十四年度 一五万円  
以上 一一名

### 榎本美彦先生から御寄付

本大学法人顧問（同窓会名誉会頭）、榎本美彦先生は、奥様の七回忌法要に際して台風等による罹災同窓の方々への御見舞の資金として大学に五万円を寄付された。

### ケイス・E・テイヤー教授を本学名誉講師に

同教授はアイオワ州立大学歯学部、歯冠継続架工學主任で、この度来学され、特別講義をされたのを機会に名誉講師に推薦された。

### 海外往来

枝重夫講師 帰国  
米国バプアロー大学で研究中であつた同講師は、二年間の研究生活を終えて、家族と共に七月十日元気に帰国された。

関根 弘教授 欧米視察へ  
欧米諸国の補綴学の研究ならびに視察のため、八月二十四日羽田を出発された。十二月二十八日帰国の予定。

古川 正講師 ヴェルツブルグ大学へ

ヴェルツブルグ大学顎外科、レニレダー教授に招かれ、八月二十四日、夫人と共に渡独された。同大学正助手として一年間主に手術学を研修される。

高江洲 義矩講師 米国へ

高江洲講師はフォーサイス・デントタル・センタリーに研究員として一年間従事するため八月二日単身羽田を出発した。

市川病院 鈴木弘造院長欧米へ  
欧州の医事視察のため九月十日より十月一日まで約二十日間におたり出張された。

### 学位受領者紹介



宮下智也君  
昭和三十六年卒  
東北大学医学部  
衛生学教室、主  
論は「顔面頭蓋

構造ことに外鼻形態の構成に関する疫学的研究」民族衛生第三四巻第四号および第五号、指導および主査は高橋英次教授

推田村 豊	四・六七	神奈川県
推大塚熊太郎	四・七〇	徳島県
6 橋詰不二	四・四	茨城県
4 猪狩泰徳	四・七三	室 蘭
5 奴田原治喜	四・八二	豊島区
推佐藤甚吉	四・八六	青森県
大迫 一三	四・八八	大 森
13 大遠藤正光	四・九二	福島県
13 大五島憲之	四・九六	福岡県
13 医古屋富明	四・七六	山梨県
13 医泉川久助	四・七九	茨城県
別松崎 繁	四・八〇	神奈川県
推神保嘉太郎	四・八二	神奈川県
推井上和志	四・八二	大阪府
推黒井賢次	四・八二	三重県
推早川 喜	四・九二	岐阜県
大渡辺 茂	四・九三	岡山県
御冥福をお祈り致します。		

### 歯科診療所を お貸したい

故水津靖氏（昭和十八年八月卒）は、去る六月四日に急逝されましたが御遺族はその診療所をお貸したいと希望しております。診察室、待合室、技工室、玄関、御手洗がついています。通いの形で歯科医院を経営する方に好都合かと思えます。

場所 中野区大和町一の三四の五

条件 月額六万円（委細直談）  
国電高円寺下車徒歩五分

（北村勝衛 記）



## 鎮痛剤とその使い方〔Ⅱ〕

黒柳錦也

口腔領域において使用される鎮痛剤には、前回述べましたように、サルチル酸系、アニリン系、ピラゾロン系などの製剤や、それらを配合したもの、または全くこれらに属さないものまで各種あります。

サルチル酸系鎮痛薬：アスピリン（日本化薬、小野）、ハイピリン（エーザイ）、パファリン（ライオン）

アニリン系鎮痛薬：アセトアニリド（小野）、ピリナジン（山之内）、フェナセチン（住友、鳥居）

ピラゾロン系鎮痛薬：アミノピリン（住友、武田）、アンチピリン（住友、武田）、グレラン（グレラン）、セダロン（三共）

配合薬：ザクチリン（ワイソー万有）、キョーリン AP 2（杏林）、新グレラン（グレラン）、ソクラン（グレラン）、セデス（塩野義）、ブチロン（グレラン）、コーナル（昭和）

その他：グリファナン（中外）、ボンタール（パークディビスー三共）

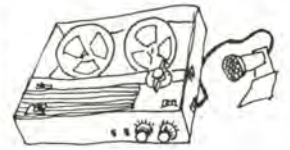
これらは市販されているものの極く一部にしかすぎず、御存知の通り他に幾種もあります。しかし、歯科の処置において、この種の痛みにはこの薬剤でなければならないと云うことはありません。

したがって、使用上もっとも注意すべきことは、その使用量もさることながら、副作用であります。一般に知られているものは薬疹ですが、この他に眠気、悪心、嘔吐、頭重、眩暈、不眠、不穏、胃腸障害などがあります。ところが、このように副作用として挙げられているものが、临床上現われたとしても、それをすぐに鎮痛剤の影響と判定するのは早計であると私は考えています。なぜなら、抜歯を例にとりますと伝麻、浸麻、抜歯などの侵襲も種々の病的状態を惹き起こすからです。抜歯や小手術後に鎮痛剤を服用しなかった症例において、前述の不fast事項が相当数発現することを私は知っております。では薬疹はどうでしょう。これも、薬疹でないものを薬疹と見誤ることがあります。各種薬剤による光線過敏症がその代表です。さて、薬疹として有名なものはピ

ラゾロン系のいわゆるピリン疹ですが、これには臨床的に色々の丸のものが 있습니다。この薬剤ではこの形態のものとはっきりしているわけではありません。そして少量の薬剤の摂取で出現し、一旦発生するとその後はいつも少量でも再発することが特徴であります。また、薬理作用の異なった薬剤でも同じような発疹が生じ、逆に同じ薬剤でも異なった発疹が現われたり、同一個人でも時期によって異なる形を示します。したがって、日光にあたる前に偶然に鎮痛剤を服用したりすると光線過敏症を副作用の発疹と誤りやすいのです。これを起こしうるものとしてはサルファ剤、クロルプロマジンなどがあることを常に頭に留めておいて下さい。

これまでに述べましたことは、いわゆる狭い範囲の副作用についてであります。妊娠中または授乳中の患者では、なお一層の注意を払わねばなりません。なぜならば妊娠時に鎮痛剤を使用すると、それは生体の代謝機構に自然の状態では何んら関与しない物質にもかかわらず、その分子量に応じて無選択に胎盤を通過してしまうからです。そして、その結果起こりうる胎児障害は時期的に特徴があり、胚芽期（妊娠第4週まで）では胎内死亡、器官形成期（妊娠第5～8週）では奇形、胎児期（第9週以後）では発育障害や機能障害とくに脳神経系であると云わされています。そして、障害要因であると疑われる原因、つまりこの場合は鎮痛剤ですが、この特異性が著明でなく、ある薬剤について特徴的な障害が起こると云うものではありません。幸いにして人間の場合には動物実験のように大量投与することがないため意外と異常発生の報告はありません。しかし奇形発生の臨界期である妊娠第12週頃まで薬剤の濫用は慎むのがよいと思われまふ。では分娩後における乳汁内分泌はどうでしょうか。これもやはり、胎盤と同じように程度の差であって、多くのものが分泌されると考えねばなりません。しかし、乳汁の場合には、母体の肝臓により処理がかなり行なわれ、実際上の問題は少ないと思われまふ。

（口腔外科学教室）



## 四国地区連合会の巻

さる七月二十七日(日)香川県高松市において、第一回の四国四県の支部連合会が開催された。

### 第一回の総会が開かれるまで

福島会長はかねてより、この地区のブロック会の結成を強く要望されていたが、その期が熟し、今年二月十六日に香川県琴平市において、設立準備会にも相当する世話人会が開催された。この時の模様は、会報一七八号に掲載されているが、四県の支部長及び有志二十四名が参集された由である。

この会合で、第一回の会合を香川県で開催することが決定された。以来、平田支部長を中心として支部役員の方々により着々準備が進められ、この日、第一回の総会開催の運びとなったものである。

### 総会の前に

#### 連絡協議会

総会に先きだち、十二時十分よ

り約三十分間、連絡協議会が開催された。

第一回目の会合とあって、もっぱら連合会の運営について協議された。

この会合は、支部長だけの会合ではなく、参会者全員参加のもので開かれた。次回からもこの会がもたれば、おそらく、会員相互の意見や情報の交換の場となると思われる。

平田香川県支部長、佐藤愛媛県支部長、横矢高知県支部長、猪子徳島県支部長より、それぞれ意見を交えた挨拶があった。

ついで議長団に、当番県平田支部長と、次期当番県佐藤支部長を決定し議事に入る。

一、本日の参会者五十名。来賓に杉山学長、福島会長、渡辺教授を迎え、たまたま来高された松宮教授にも御出席いただく旨報告があった。

二、前回の世話人会の申し合せ通り、香川、愛媛、高知、徳島の順に、一カ年間当番とする。し

たがって、来年は愛媛県担当が確認された。

三、総会時期は、概ね八月とし、学術会をも開催する。八月としたのは、夏休みを利用し、家族を同伴して、共に楽しもうとの意図のためである。

四、会費等は、当番県に一任にする。ただし、会場費、懇親会費は出席者の負担とする。

五、その外の必要経費は、四県支部で分割負担することなどが決定された。

### 総会、来賓の現状報告

十分間休憩の後、同じ会場で総会が開催された。

福島会長より、同窓会長として同窓会のあり方について、また母校の理事として、それぞれ詳細にわたって熱意をこめて話された。

とくに、連合会は、決して上意下達のため会ではなく、できるだけ広い範囲の人が一堂に会し、忌憚のない話しあいをするに意義があり、それを通じて横の連絡を密にして、ますます団結を強くするのに役立つことを期待してと強調された。

杉山学長は、母校の近況について、詳細かつ具体的に数字をあげて説明され、同窓の理解と支援を懇請された。

松宮教授は、主に大学院研究科について現状を説明された。

### 学術講演会

#### 地元会員の発表

時間の都合で「新しい充填」の話はやめて、「アンデス・インカ・インディオ」について渡辺が一時間講演をした。

ついで、地元会員より、四十分づつ発表があった。

「私の診療—琴平市、塩田尚文先生(昭和十八年卒)が架工義術を中心として。

「局部義術について」丸亀市白井通義先生(昭和十三年卒)が局部床義術を中心として、スライド、プリントを用意して発表。

両先生とも、最も新しい理論を勉強され、それを自己の診療に実際に応用されていることをありのままに述べられた。

学長、会長共にその熱心さと努力に対しては、さかんに敬意を表されていた。

とかく、簡単に無理だと思ひこみ、あきらめる前に、やってみよう決心し、見事に実践されていることは、若い会員には好個の目標に、先輩にはよき刺激となると思われる。

これは、この会の一つの特色として有意義なことである。

なお、地元ではこれらの発表を、今後学術会議の選挙資格の獲得の一助にものとの考えもあるようである。

### 懇親会と地理的条件

少しづつ時間がずれたため、懇親会の時間が少なくなり、役員は大変気をもんでおられたようであった。これは、一つには地理的な条件として、殆どどの出席者が、当夜の列車で帰宅されるためであったようだ。

松崎先生の司会で自己紹介などあり型通り進められ、賑やかに散会した。(この模様は、支部のうごきを参照して下さい)

### あとがき

待望の四国地区連合支部会が発足し、成功裡に終始したことは、誠にめでたいことである。四県の会員の三分の一以上の出席者があったことも、成功の一因であらう。欲を云えば、前に述べた地理的条件等からして、出席の母校の先生方と会員との間に、公式の質問や意見の交換の時間があつた方がよりよかつたのではないかと思われる。

いづれにしても、地元役員、会員のお骨折は、充分に反映されていたと思われる。敬意と感謝の意を表する次第である。(渡辺)

最近、同窓会本部の了解済みと称し、探偵社員なる者が募金に訪れている由ですが、本部はなんら関知しませんのでご承知下さい。



## 支部のうごき

### 青森県支部

八月は青森市は行事が多く忙しい月である。三日から七日迄の恒例のネプタ祭り、十三日からの盃蘭盆に加え今年には三沢高が甲子園で大活躍したので仕事が多く手につかなかった。二十四日(日曜)の総会は青森支部と上北支部との野球試合、弘前市の助手講習の開設日等が重なった上に夜半からの豪雨で堤川が十一年振りに氾濫して右岸流域の桜川団地、花園町、栄町、相馬町が濁流の海と化した。総会会場が堤川の左岸故懸念されたが予定通り開催できたことはなによりであった。

昭和四十四年度青森県支部定時総会は八月二十四日(日曜)午後二時から青森市堤町富士会館で開催された。定刻二時安田理事開会の辞、浅田支部長挨拶、成田忠直先生議長席につかれ安田理事の庶務報告、嶋中理事の会計報告、東北地区連合会決算報告、会則一部修正は会費千円増額の件、総会は七月から八月にかけて開催する等承認、予算審議して可決となった。当日

東京都歯科医師会副会長、清藤志郎先生に御掃省願って中央の歯科界を語るの議題で一時間半に渡り同窓会や中央の情勢について詳細懇切に解説して啓蒙して頂いた。近來にない名講演で深く感嘆を与えた。講演後記念撮影の懇親会に



移り気満々の裡に十分に親睦の効果をあげて閉会す。当日出席者左の如し、東京都 清藤志郎氏 本県分、久保内健太郎、石山芳雄 成田忠直、浅田喜三郎、佐貫大之助、小笠原栄造、宮崎芳雄、工藤一郎、服部純治、清藤栄、奥瀬馨

### 猪狩泰徳君の死を悼む

猪狩君が死だ。思いもしなかった事である。十四回は総会を地方で開催して五回になる。卒業以来逢う事のない学友と旧交を温め、地方色豊かな風物に接しお互の健在を祝福し合う事を目的として開いて来た。卒業四十年来東京で盛大に祝った席上、次回の地方総会を札幌で開く事に決定して昭和四十四年六月十三、十四日として増田勲君等の骨折りで定山溪を会場として想い出多い楽しい総会が開催された。猪狩君も元気で出席、一別以来の彼と過ぎ去った四十年を語り彼と親しかった友の消息に目を細めて聞き入ったいた彼だった。私は御世話になった総会の礼状を出し終ったばかりの七月二十



安田良造、大塚幸夫、工藤勤、平山州一、嶋中豊彦、中村善佐衛門 吉岡隆一、清藤勇也、綿谷聖道、松山陽一、松島静吾、佐貫之夫、佐貫莞爾、猪股幸太、小泉仁 以上

四日、室蘭の太田泰正君から長距離電話で心臓麻痺の為急死されと知らせてきた。全たく意外な出来事で次の言葉が出なかつた。心から哀悼の意を表する。猪狩君と総会の宿で枕を並べて口数の少ない彼と楽しく話し合ひ、来年は上京して又逢う事を約したのに。皮肉な運命のいたずらが憎い。卒業以来逢う事もなく他界された十四会員の事を想うと北海道総会で猪狩君に逢えた事がせてもの慰めになった。総会の記念写真を整理してあの時の彼を見出し強く胸をしめつけられる思いがした。来年の地方総会には彼の遺影を持って出席したいと思っている。北海道はもう冬間近かなどんよりとした空と冷たい風が吹きはじめたであろう。猪狩君安らかに郷土の土に抱かれてねむられよ。御遺族の皆様御健康と御繁栄を祈って合掌する。

猪狩泰徳君は伊達町一の豪農の

長男として生れ、昭和二十二年伊達町中学校の初代PTAの会長として十三年間に亘りその職をつとめ、同時に同校の歯科校医として人望厚く、東歯同窓会室蘭支部の副支部長及び数度に亘り歯科医師会の理事を歴任され、昭和四十四年八月には伊達町百年祭に市政功勞者として表彰を受けられる等彼の生前の功績は永く伊達町に残されるであろう。現在御遺族は未亡人と六人の子供さん達で、長男は中学校の教諭で後継者のないのが淋しい次第である。謹しんで猪狩君の御冥福を祈る。

昭和四十四年九月十五日  
十四会 高橋初太郎

### 猪狩泰徳之命に捧ぐ

鈴木 洋々子

下闇に夕闇迫りつつありぬ  
神苑の喪服の夫人落し文  
病葉のうちつもるかに神苑に  
神ながら、散る病葉も  
夜の秋の祝詞かなしも

途切れつつ  
音なしの拍手打ちぬ夜の秋  
清めたる神苑にまた落し文  
亡き君の霊の如くに火蛾一つ  
ハイウエーをよぎりし

大蛾火となりし  
あなかなし涼しき月もち曇り  
(室蘭市 鈴木又吉)



# クラス会だより

## 更始会

昭和三年卒

本年も残り少くなく更始会の皆様御元気に御越しのことと存じお慶び申し上げます。

過日の会報に御報告いたしました。本年の総会に最善の計画を準備していただきました麻生君に心から御礼申し上げます。

全員アイヌの衣裳の記念写真が出来ましたので掲載いたします。誰だかおわかりですか。来年の総会開催地は四国と決定いたしました大阪解散後有志の万博観光を計画致しますが万博のため新幹線、汽船旅館等相当混雑すると思しますので十一月に大体参加人員をまとめた

と思います。何卒御多数参加願います。御同件大歓迎、時期的には五月中旬後がよさそうです。コースは大阪港関西汽船にて松山——道後(泊)——高知(泊)——高松(泊)——大阪夕食後解散

十一月九日の同窓会后左記によりクラス会を開催致し旅行の御相談をいたしたいと思います。奮って御出席下さい。

日時 十一月九日(日曜)

午後五時半

場所 後楽園ボーリングセンター

後楽園飯店

会費 一、五〇〇—二、〇〇〇円

尚当日総会にて決定致しました。永年幹事長の山本君へ記念品を贈ります。

来年のクラス総会には四国在住の今川、浜田、今井諸君よろしく御協力願います。

千葉の出羽君より便りあり。各種の同君は皆様御存知の通り昭和八年まで北海道にて盛大に開業にもかかわらず、趣味の馬のため感ずる事があり昭和九年二月府中の布施厩舎に馬丁見習(給料五円)として弟子入りした騎手調教師牧場経営者として三十五年。その為東京競馬の職員、調教師、騎手、馬丁等競馬場に住むすべての人を

会員とする東京競馬場親睦会を設立し大いに御活躍の由、この度優駿雑誌の懸賞論文に入選されました。

御喜び申し上げます。御発展を祈ります。久し振りに総代の松尾老(八十才)持病のヘルニヤにて静養中ですが来年の四国総会には御参加の由便りがあり、又山本君の記念品代その他御寄付がございました。紙上にて御礼申し上げます。

野田の秋山君も腎臓結石の手術

## 堅久会

昭和十六年卒

本年クラス会は最初赤坂の「三喜」を予定しましたが出席者が予定より遙かに大勢になりました。為、会場の変更の止むなきに至り、幹事及び世話人協議しました所、久し振りに懐しい浅草でと言う事になりましたのでお知らせ致します。出席申込者には個人宛地図入り案内状を発送致しますが現在迄に四十七名の申込みがあり盛会を予想した幹事一同喜こんでおります。今後共出席に拘らず近信通知だけは送って下さい。

日時 十一月八日(土曜) 午後六時

場所 浅草仁丹塔横(浜清)

会場不案内の方は当日母校正面玄関に五時に集合して下さい。一緒に御案内致します。

次に明年の関西懇親会及び万国博覧学の申込みは同伴家族の人を含めて約百名に達しました。一応これで締切りですが関西地区の平、伊藤、小川、原田、村田、畑君等のお骨折りにて「新阪急ホテル」を予約して下さい。往復の列車の切符の手配やお世話は出来ないとこの事ですので各自で都合して下さいとの事です。尚、細部については次号にてお知らせ致します。先般平井政也君の死去をお知

後順調にて無事退院されました。お慶び申し上げます。会員の皆様御元気なお姿でお会い致しましょう。清水 幹事

## 十六会

昭和十九年卒

本年度総会は既報の如く、北海道在住の沢田清宇君始め八君の周到な計画により、去る七月十七日より二十日まで三泊四日の観光旅行を兼ねて北海道に於て盛大に開催されました。第一日の会場札幌パークホテルに集う者五十四名、その中夫人同伴十七名、河合君は母堂同伴。バイキング形式で会長沢田世話人代表の司会により懇親会を開催し自己紹介。何しろ卒業以来始めて参加する会員多数お互いに久闊を叙し健康を祝し合う光景の連続にて和やかさこの上もなく、わけても夫人方の今回程多数御出席を頂けたことには、世話人の気のつかい方は尋常ではなく全く頭の下る思いでした。その夜は札幌市内に繰り出した。大いに楽しみました。翌朝、バス二台に分乗いよいよ道南観光の途につく。札幌市内、支那湖、登別泊、昭和新山、洞爺湖泊、中山峠札幌のコースでしたが、向う所すべて快晴。最後の夜の洞爺湖では降雨一時あり街を散歩する頃には





# クラス会だより



東京理科大学同窓会十六会総会

止みこれが却って風情を高め寝る時間が惜しい位、夫々深更迄談笑し合い、まどろんだと思つたのも束の間雷が鳴へたりで最終の二十日は雨かと思いきや、窓外は日本晴で札幌に戻る途中水野君の豪壯

な構えの門前にバスを寄せ、こゝで彼の心尽しのお土産が配布され恐縮多謝。予定時間通りパークホテルに到着。最上階の見晴しのよいサロンでビールで乾杯、校歌を力強く全員で合唱。袂別の挨拶をするのが辛い思いでした。ここで昼食をして散会しましたが、すべてが楽しい思い出となり一同大満足のいで同級生の親睦を弥が上にも高め特に夫人同志が大変仲良くなられ十六会夫人会が出来た位の雰囲気となったのも大収穫でありました。これからは内助の功絶大の夫人方、母堂も大いに参加されまます様御願ひします。

既報の如く次に十一月八、九日に二十五周年記念祝賀会を伊豆長岡伊豆ホテルに於て開催されますが、現地世話人中原幹事のところ、申込みは既に五十六名とのことです。まだこれから申込みされても間に合うので、北海道総会に出席者は勿論のこと北海道に行かれない方々には特に参加を希望しています。申込みは中原君迄、詳細は同君から直接連絡される手筈になっております。

次に記念誌のアンケート締切りが過ぎていますが、どうかお忘れの方は至急先般の案内状に同封のアンケート用紙に所要事項記入の上御投函下さいませ。尚アンケートを既にお出し下さった方でも未だ御自身近影の写真を送られない方はこれら大至急飯田迄御送付頂き度く、何として祝賀会に間に合せて下さいませ。最後に総会をお願い申し上げます。最後に総会を大成功裡に導かれた北海道在住八君の献身的なお世話に對し会員一同に代り厚く御礼申し上げます。

（幹事長 飯田精一）

## 五十二期会

昭和二十二年卒

本年度家族同伴クラス会旅行を南九州で開催。名古屋よりの近藤先生を迎え、参加者五十二名（会員二十名、家族三十二名）八月二十一日、宮崎青島に集合、二十二日林田温泉、二十三日指宿温泉、二十四日午後鹿児島で解散。第二日は台風の日の中を通ったり旅館は停電。第三日、四日目は晴天。三才の幼児より大学生の娘さんまで、或いは二人だけの旧婚旅行組もあり、卒後初の参加者もある誠に和やかな楽しい四日間の旅で、家族もすっかり親しくなり、盛大な親睦会で、お互に又、次回の再会を約し名残を惜しみながら解散。今回は特に地元九州の幹事栃原君夫妻、大塚、天村、伊藤清水泉福諸兄には多忙中を至れりつく

## 五十鈴会

昭和二十八年卒

せりのお世話をいただき、紙上をかりて深く感謝の意を捧げます。二十一日クラス会総会協議決定事項は、  
一、家族同伴旅行は明年は中止して、明後年秋田地方で開催する。（秋田の五味君に諒解済）  
二、四十三年度、庶務、会計報告、満場一致で承認、役員は留任。  
三、本年度第二回クラス会は母校同窓会と同日にして熱海で開催する。（山崎文男）

## 六喜会

昭和三十三年卒

一、会合は二ヶ月に一回  
第四木曜日  
一、場所は当分の間八千代館（四谷荒木町、都電地下鉄四谷三丁目下車、電話351〇三〇六）  
今回も東京だけとはけしからんと、東京近在の方も出席されましたが、振って御来集下さい。次回は十一月二十七日となります。  
なお、十一月二十七日は第五回ゴルフ大会を霞ヶ関カントリークラブで開催致します。希望者は、大友迄ご連絡下さい。（河西記）

東京近在の会員だけでも時々会合をもちたいと希望していましたが、四月には本年度クラス総会開催の相談を兼ねて会合を持ち、今坂、大友、長田、河西、田中、竹内、松尾、矢島、吉井の諸兄と楽しい夕べを過しました。  
第二十回クラス総会開催通知を借りてご連絡致しました通り、九月十一日、午後八時より、四谷荒木町八千代館で会合を開き今坂、大友、河西、小堀、桜井、斎藤、竹内、田中、中尾、松尾、前川、本山の諸兄が集り次の事が決まりました。

総会開催のお知らせ  
左記のように総会およびゴルフ大会を開催いたします。  
場所 箱根湯本温泉 ホテル「おかだ」  
日時 〇四六〇（五）五七七一日時 十一月九日（日）午後六時  
会費 八千円（クラス会費は別）  
〇ゴルフ大会  
予約二〇名、先着順に受付  
場所 小田原湯本カントリー  
日時 十一月九日（日）  
午前八時スタート

### 発行所

東京都千代田区三崎町二丁目九番十八号  
東京理科大学 同窓会  
電話東京(二六)三三三二(代) 三三三九(番)  
編集兼発行人 渡辺 富士夫